



中央は国府別院教務所長様

内藤喜美子さん
(荻谷)

内藤トミ子さん

■「念佛あばあちゃん」の有縁講

毎年参加している新潟県妙高市・赤倉ホテルの「有縁講」に昨年も参加しました。

「念佛あばあちゃん」で有名

だった平井ショウさんのご縁で始まったお講で、ご法話はもちろん参加者同士の懇親会や劇団のショーなどもあり、おいしいご飯を囲み、温泉につかって、部屋でくつろぐのも楽しみです。スタッフの方々のおもてなしも温かく、末長く続いてほしいと思います。

(新潟県上越市 浄福寺坊守・井上桂子)



本願寺新報 2019(平成31年)1月10日号に
掲載されました

平成最後の有縁講に行つてきました

根元 静枝さん(3区)



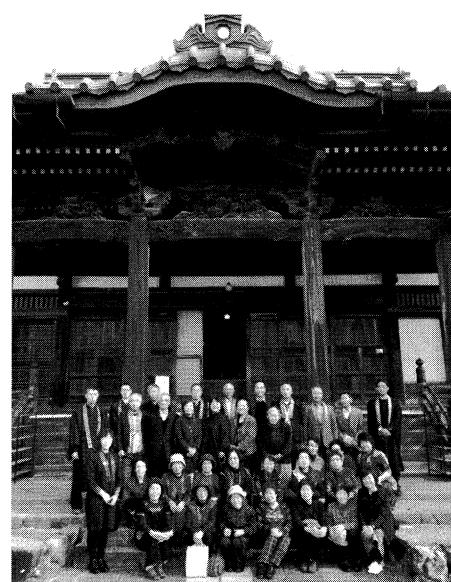
淨福寺
門徒会発行
☎ (025) 536-2532
FAX (025) 536-2674
✉ jofukuchi@alpha.ocn.ne.jp

有縁講は母が十年間参加していましたので、一度は行つてみたいと思っていたものの、身体に悪いところがあり、無理だなあと諦めていました。ところが坊守様に「ベッドのお部屋もあるし、お食事は椅子でいただき、参加することにいたしました」と背中をおしていただき、参加する

かくして一日目。まずは参加者全員でお経を読みました。その後はご講師の法話をお聴きしたのですが、あらふしげ、内容は、ほぼ忘れてしまいました。(苦笑)。

懇親会は劇団の歌謡ショーを見ながらのお食事。きらびやかなステージに見惚れ、カラオケタイムでは、浄福寺チームは、高校三年生と炭坑節の替え歌を全員で歌い、踊り、団結力をアピール。その夜一番の盛り上がりだったと思います。

夜が明けて二日目。この日はゆっくりとした出発で、四度目の温泉入浴という強者もいらっしゃいました。お昼は、道の駅小布施パークリングでお蕎麦と栗おこわ。そして、お待ちかねのショッピングです。もちろん、栗のお菓子など沢山買いましたよ。古刹とはこういうことを言うのでしょうか。古くて、大きくてそれは立派なお寺でした。



普願寺様 浄福寺とつながりのある寺院

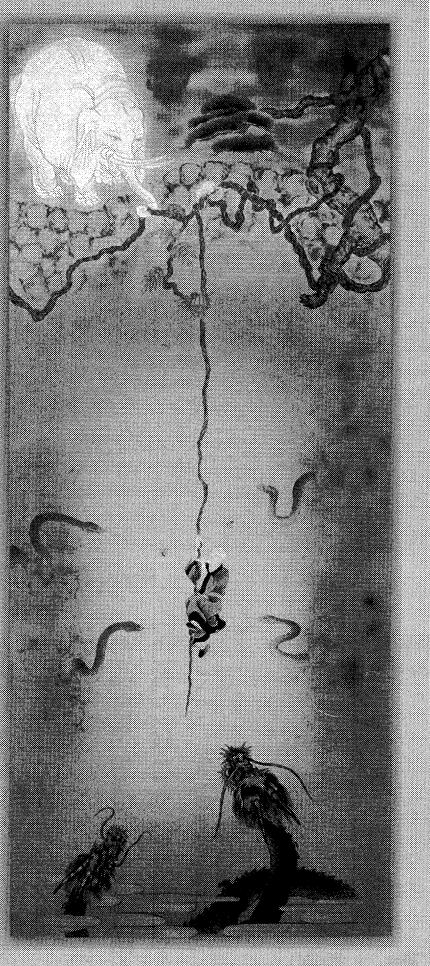
そこで温かいおもてなしを受け、お土産まで頂戴し、帰路につきました。例年なら時雨降る十一月も末の旅行でしたが、二日とも快晴に恵まれました。初めてで、しかも一人での参加でしたが、「旅は道連れ世は情け」を実感した楽しい有縁講でした。

ある時、旅人が荒野を歩いていると、突然、猛獸に襲われました。旅人は慌てふためきましたが、何とか逃げ出し、ちょうどそこにあった空井戸にこれ幸いと駆け寄り、その口から垂れていた一本の藤づるにつかり下に降りていきました。やがて猛獸が追いつき、井戸の中をのぞいて激しくほえましたが、降りることはできません。

旅人はやれやれと安心したものの、ふと底を見ると、恐ろしい毒をもつた龍が大きな口を開けていました。驚いて途中で止まり、まわりの崖に足をかけようとしたが、そこにもまた毒蛇がいて今にも襲いかかろうとしていました。旅人はますます恐れおののき、今はもうこの藤づるだけが命の綱だと、懸命にそれにしがみつきぶら下がりました。

ところが今度は、井戸の口の所に黒と白の二匹の鼠が出てきて、かわるがわるそのつるの根をかみ始めたではありませんか。旅人は、これは大変だと、しきりにつるを揺さぶりましたが、つるが揺れるに連れて、またま根元にあつた蜂の巣から数敵の蜂蜜がこぼれ落ち、偶然にも旅人の口に入りました。その蜜は何ともいえないおいしい味でした。それから旅人は眼前に迫つて自らの置かれた恐ろしい現実をすつかり忘れて、ただ落ちてくる蜂蜜をもつとたくさん口に入れようとしきりにもがき始めた、というお話です。

黑白二鼠図



この図は、前回の寺報第41号に載せました「二河白道」と同じく、旅人は私達を表しています。そして襲ってくる猛獸は、『すべてはつねに変化し続けていて何一つ常のものはない』という無常を表しています。藤づるは私たちの寿命。井戸の底にいる恐ろしい龍は私達の死。蛇はおそらく癌などの病気や事故といった私たちの死因であります。そしてそこから出てくる白と黒のネズミは、昼と夜を表しています。私たちの命はつねに変化し続けて、一日一日寿命が削られており、いつか必ず死がやってくるという現実を示しています。

ところが、そこに描かれている蜂蜜は私達の快楽を表しており、『やがて死が近づいているにもかかわらず、目の前の快楽・娯楽ばかりを追い求めてばかりいる貴方の姿ではありませんか』と戒めた図が、この黑白二鼠図です。

私の父方の祖父・**大谷昭道**が亡くなるときに次のように言われました。

**「仏さまの智慧をかりて、人と人の関係を完成していく
仏さまの智慧をかりて、人生を完結していく」**

たった一度の命をどのように生き、どのように死を受け入れるのか。そのためには仏さまの教え(声=智慧)に出遇いなさいということです。

阿弥陀如来様は、「どんなことがあろうとも決してあなたを見捨てない。必ず救う。」と呼び掛けて下さっています。親鸞聖人は、その呼び声をひたすら聴きなさいとお示しくださいました。

「どうして人々は、世間の雑事をふりすてて、各自が健やかな間に、つとめて善を励み、ひとえに淨土に往生することを願わないのであろうか。そうすれば、どこしなえにつきないいのちが恵まれるであろうに。なぜ、道を求めないのであろうか。なにを期待して生きているのだろうか。いったい、どういう楽しみを欲しているのであろうか。」

『仏説無量寿經』

清掃奉仕の御礼と次回のお願い

12月9日（日）のお掃除奉仕には、曙・出羽・1区・2区の27名のご門徒さんが来て下さいました。その日は天候に恵まれ、それまで手がつけられなかつた庫裏の裏手の落ち葉をきれいにしていただきました。また、仏具のお磨きや本堂や庫裏の畳などを拭いていただき、おかげ様でスッキリとした気持ちで新年を迎えることができました。ご参加頂いた方には心より御礼申し上げます。



今年の報恩講お引き上げ清掃奉仕は、6月9日（日）に下中山・荻谷・阿弥陀瀬・川井・行法・角取・高寺のご門徒さんにお願いする予定です。人数が少ない場合には、柳ヶ崎の方にもお願いするかも知れませんが、何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申しあげます。

葬儀社に頼む前に

最近の葬儀で少し気になることがあります。「告げ」を頂くときには、葬儀場所がすでにセレモニーホールに決まっています。決してセレモニーホールでの葬儀が悪いといつてはいるわけではありません。便利さ、駐車場、天候の心配がありませんが、経費が少しかかりすぎるのはと心配しています。葬儀は、昔は外で執り行われました。木の位牌は、外で行うために木片に法名を書いた名残ですし、葬儀で使用される葬儀壇または莊厳壇（一般には祭壇といいますが、正式には祭壇とはいいません。）本来は、あまり派手にする必要はありません。棺があり、写真や位牌があり、少しの本堂で葬儀をする場合は、その壇はすでに莊嚴して飾られています。皆様の本堂ですので、そこで葬儀を執り行うことも考えてみて下さい。経費がかかることによって家族葬や直葬・散骨が増えしていくことも心配しています。私達僧侶は決しておいしいご馳走やお酒を望んでいます。亡き人を通じて、一人でも多く仏さまの教えを聞いていただくことが一番の願いです。



東北視察研修旅行について



地震から1カ月。岩手県陸前高田市の中心部では、僧侶が被災者への祈りを捧げていた（撮影・濱崎慎治）

柿崎区の「わいわいしゃべろう会」では、東日本大震災の後、毎年東北方面へ視察研修旅行を行っています。今年は福島県の原子力発電所の近くまで行く予定です。「被災地に思いを寄せる、足を運ぶ。それが私達のできる支援である。」とある方が言われたように、私達が現地に行くことが支援になるのならば、という思いから継続しております。昨年は南三陸方面へ行きました。

詳細については未定ですが、日にちは決まっております。ご希望される方は予定しておいて下さい。申し込まれた方には、後日正式にご案内致します。

○日 時 8月25日（日）～26日（月）
○行 先 福島方面
○参加費 35,000円程度

ちなみに、今回の研修旅行の実行委員長は私はです。ご門徒さんが大勢参加して下さることを願っております。

ちなんに、今回、研修旅行の実行委員長は私はです。ご門徒さんが大勢参加して下さることを願っております。

柿崎区の「わいわいしゃべろう会」では、東日本大震災の後、毎年東北方面へ視察研修旅行を行っています。今年は福島県の原子力発電所の近くまで行く予定です。「被災地に思いを寄せる、足を運ぶ。それが私達のできる支援である。」とある方が言われたように、私達が現地に行くことが支援になるのならば、という思いから継続しております。昨年は南三陸方面へ行きました。

詳細については未定ですが、日にちは決まっております。ご希望される方は予定しておいて下さい。申し込まれた方には、後日正式にご案内致します。

○日 時 8月25日（日）～26日（月）
○行 先 福島方面
○参加費 35,000円程度

『初参式』並びに『新一年生を祝う会』開催のご案内

淨福寺では、毎年4月に「新一年生を祝う会」を開催しています。

「初参式」は、赤ちゃんが誕生になられたことを阿弥陀様に報告し、感謝の気持ちを伝えるという式です。そして、その赤ちゃんが成長して一年生になつたときに、また改めて「新一年生を祝う会」で、お祝いさせていただいております。

しかしながら近年「初参式」に該当される方を把握することがなかなかできなくなりました。あかちゃんが生まれて、まだお寺にお参りされていない方やこれまで欠席された方は、淨福寺までご連絡下さい。

「一年生のお祝い」では、3区の布施静

幼少の頃をモデルにした合掌人形とおやつをお渡ししております。
該当される方は是非お知らせ下さい。淨福寺の本堂で御一緒に祝いいたしましょう。

記

【新一年生を祝う会】
4月14日(日)午後1時半～3時

5月12日(日)午後1時半～2時半
(昨年1月～12月に生まれた赤ちゃんと、これまで欠席された赤ちゃん)

参加費

は共に1、

000円

です。どうぞ普段着でお気軽にお越し下さい。



新一年生を祝う会



初参式

平成31年 淨福寺年中行事

| | |
|--------------------------|-------------------|
| 修正会 | 1月1日(火)～3日(木) |
| 年始寺年始 | 1月4日(金)～1月16日(土) |
| 初お講 | 1月14日(火)～1月16日(土) |
| 春季彼岸会法要 | 2月11日(日) |
| 新一年生を祝う会 | 2月16日(火)～2月17日(水) |
| 暮地草刈清掃① | 3月3日(日) |
| 報恩講お引き上げ | 3月10日(日) |
| 門徒会世話人総会 | 3月17日(日) |
| 暮地草刈清掃② | 3月24日(日) |
| 在方盆参 | 4月7日(日) |
| 秋季彼岸会法要 | 4月14日(日) |
| 終お講 | 4月21日(日) |
| 町方盆参 | 5月5日(日) |
| 暮地草刈清掃は、淨福寺境内に墓地のある方だけです | 5月12日(日) |
| ○平和の集い～お話しと歌 | 5月19日(日) |
| ○赤倉木テル有縁講 | 5月26日(日) |
| ○歌とサックスコンサートin淨福寺 | 6月2日(日) |
| ○净福寺清掃奉仕 | 6月9日(日) |
| ○净福寺第22回公開講座 | 6月16日(日) |
| ○納骨された方にご案内します | 6月23日(日) |
| ○ペット法要 | 6月30日(日) |
| ○平和の集い～お話しと歌 | 7月7日(日) |
| ○チャリティーコンサート | 7月14日(日) |
| ☆これらの行事の会場は、すべて淨福寺本堂です。 | 7月21日(日) |

| 編 | 集 | 後 | 記 |
|---|---|---|---|
| 今後共皆様方からの本誌へのご要望・ご意見、そしてご投稿をお気軽にお寄せ下さいます様お願い申し上げます。 | | | |